

会員みんなの一言メッセージ

INDEX

会員みんなの一言メッセージ	1~2
コロナ渦の豆知識	2
うすい日出男自伝 ⑤	3
例会委員会報告	4
スケジュール・編集後記	4

コロナ禍つづく。 みんなどうしていますか～

ココロナ渦の出口が見えません。月星会会員の皆様はどうしていらっしゃるでしょうか？ このコロナ禍の中、会活動も思うようにいかず、各行事は相次いで中止を余儀なくされています。何よりも、お互いに会員みんなとお会いできずに寂しい思いをしているのではないのでしょうか。

広報委員会では「みんなどうしている?企画」を立て。会員の皆様に「つぶやき寄稿」をお願いしました。結果、予想以上にたくさんのメッセージが届き、広報委員会はとても喜んでます。

会員一人ひとりの業ごもり方や困惑ぶり、率直な思いを受け取ってください(寄せられた「つぶやき」は、原文のまま掲載させていただきます。また、寄稿をいただいてからお手元に掲載誌が届くまで通常よりも日数がかかっているの、事実関係が現時点とずれている場合もありますが、ご容赦ください)。



【臼井日出男先生】

行事のほとんど全てが中止または延期になり自宅で塾居しています。8月初旬に十二指腸腫瘍の手術をし、兎に角コロナにかからぬように撮りためたビデオを鑑賞しています。



【臼井正一さん=現会長】

今は知事選の関係で関さん一色!! その他の時間はアマゾンプライムビデオでアメリカの連続ドラマを観ています。グーグルChromeだと再生スピードを変更できて便利です。



【木村光慶さん】

コロナ禍で 散歩にでもと 女房言い 紅白香る 青葉公園 (何処にも行けず、買い物と散歩のみ、疲れた)



【高山尚士さん】

測量の仕事は地味でコツコツと積み上げていく場合が多い仕事です。コロナ禍によって人々の動きが少なくなり、仕事が「更に」コツコツコツと捗らなくなったのが現状です。会社では「希望は心の太陽」で有ると、明るく楽しく即行で仕事に取り組んでいます。社

員は皆元気です。月星会の皆さん、明るい楽しい未来を信じて大きく羽撃きましょう。



【川名利夫さん】

2度めの緊急事態宣言が発令され、カルチャー教室も長期の休止となり、家庭内感染第一号にならぬよう、マスク・手洗いの日々です。



【林理智子さん】

自粛の中、金沢の兄が亡くなり千葉のかた面会お断りと病院に言われ臨終も立ち逢えず。葬儀も肩身の狭い想いでコロナを恨みました。



【山崎栄一さん】

仕事で不特定の人と会っています。家族のため、家に帰ったら寒い玄関で服を脱いで風呂場へ直行。手を触れるところは消毒です。



【山本康昭さん】

コロナ禍でも映画館へ足を運んでいます。各種の感染対策が図られていますし、逆に安全と判断します。飲食店へも出向きますよ。消費生活にも協力が必要だと思いますし、少員数なら安全で

す。運動不足で、肥満対策だけでは充分注意している毎日です。



【林威樹さん】

緊急事態宣言の延期でホテル・飲食業界は瀕死の状況です。春を迎えて一日も早い収束を祈るばかりです。



【尾形文貴さん】

ZOOMでのwebセミナーばかり見えています。嫁さん同伴のゴルフが増えました。コロナにかからないように気をつけています。



【内藤太さん】

緊急事態宣言下、甘く考えていました！20時過ぎに食べにいけないのはきついですね！晩ごはんジブシーで困っています。夜に食べすぎないダイエットになるかな？と思っていますが全然瘦せていません(笑)。



【長田研自さん】

血液検査を受けるとγ-GTPという数値が表示されます。これは外から体内に入ってくるウイルスや細菌、アルコール等をやっつけたり分解する能力の数値です。検査会社によっても違いますが、80以下、50以下が良いとされています。手指の消毒やマスクはエチケットだと思っています。NHKや地デジ民放の偏向報道にまどわされないよう気をつけましょう！



【木下英之さん】

SNSを通して、仲間とZOOMでの交流やライブ配信など、このオンラインが普及した今ならではの活動を通じて新しい方向性も探しています。今は「Clubhouse」の練習中。



【永田洋子さん】

最近、サウナにハマっています。サウナ→水風呂→外気浴という組み合わせを3セットすることで、気持ちも身体も整います。サウナで新陳代謝を高めて免疫力もアップすることでコロナに負けない身体づくりにも役立っています。



【高橋通博さん】

最近ではコロナ感染症で亡くなる方のお葬式も増えてきました。ご遺骨にしてからですがご家族様の意向にそいながら、思いをカタチに出来るようなお葬式を心がけています。お葬式といえば人が集まる場所でもある為、しっかりと感染対策をとって、安全にお葬式を執り行うように日々仕事をしています。



【片野洋子さん】

コロナ禍で1年、先が見えず怖いですね。昨年12月に家族でPCR検査を受け、全員陰性の結果が出て一安心しました。私の家では小さい子供はいませんので、消毒・うがい・マスク等全員で実行しています。運動不足には家の中を動き回っています。

●コロナ渦の豆知識

「発出」？ 「発令」？

コロナ渦になってから「緊急事態宣言の発出」という言葉が度々登場します。

昨年春、最初にこのニュースを聞いたとき、「えっ、発出って何？ 出発の漢字が前後ひっくり返ったようで、違和感があるなあ。発令じゃいけないの？」と思ったのは私だけでしょうか。そこで、さっそくネットで調べてみました。「発出」と「発令」、どう違うの？と。

すると、ありました、ありました。「発出と発令の意味」とか「発出と発令の違い」等々、たくさん出てきました。つまり、疑問に思ったのは私だけではなく、多くの方が調べたということですよ。

で、結論です。大きな違いは、「発令」には強制力が含まれていますが、「発出」には強制力がなく、「要望」とか「お願い」レベルの伝達とのこと。発令は法律等の根拠によって縛られ、「その通りに行動しなければならない伝達」といったところでしょうか。

今回メディアが同宣言を伝えるとき会社によって「発令」を使ったり、「発出」を使ったりしています。う～ん、すっきりしないなあ……。

(某広報委員より)



戦争と疎開…小学生時代の思い出

「日の出の男」の誕生

私が生まれたのは1939年（昭和14年）1月3日、新しい年が明けたばかり、つまり三が日である。その三が日の朝、日の出時間に生まれたことから「日出男」という名前を付けてくれたらしい。読んで字のごとく「日の出の男」と呼ばれることもあるが、気分は悪くない。

1939年は太平洋戦争（1941年12月～45年8月）の2年前であるが、第二次世界大戦（39年9月～45年8月）はその年の9月に始まっている。

太平洋戦争および第二次世界大戦が終わったのは45年であるから、私は6歳。つまり、私はずっと戦火の中で幼少時代を過ごしたことになる。

しかし、幼少の頃ゆえ鮮明に記憶に残っていることはあまりない。はっきりと覚えているのは、小学1年生の時の疎開からであろう。

疎開の話は後述するとして、通った幼稚園や幼少を過ごした家のことは少し覚えている。

通った園は千葉大学教育学部附属幼稚園（正確には当時の運営母体が異なるが詳細は略す。同付属小学校も同様）。当時の千葉大学は現JR西千葉駅前ではなく、現在の千葉駅前通りにある東京電力の辺りにあった。当時の我が家は東院内（現在は栄町）だったので割合近く、幼稚園児でも歩いて行けたし、親が送り迎えに大変だったということもなかったと思う。もちろん、車が普及する前のことなので通園のリスクは少ないし、迎えの車が道路にズラリという今時の風景も、当然ない。

終戦の年に学童疎開

幼稚園で何が楽しかったか、何が辛かったかというのは、ほとんど浮かんでこない。戦争が怖かったかどうかともあまり記憶にはない。

私にとって戦争にまつわる思い出といえば、「学童疎開」ということになるのである。

終戦の年、1945年は年初から都市部に対する米軍の空爆が激しく、同年（昭和20年）3月10日には東京で一度に罹災者100万人、死者10万人という規模の空襲を受けている。有名な「東京大空襲」である。

民間の住宅・住人が空爆の標的になってくれば、子どもたちは勉強どころではなくなる。そこで、空襲のリスクがない地方に集団で避難する「学童疎開」があちこちで

行われたのだ。もちろん、危ないのは東京だけではないが、人口密度の低い地方は標的にならない。

私たち家族が住んでいる千葉も十分に標的になる。そして実際に、6月10日と7月7日に「千葉空襲」と呼ばれる戦火により多大な被害が出ている。

地方に疎開したのは子供だけではない。おちおち寝てもいられない状況になってきたので、家族共々疎開する機会が多かった。

白井家は家族で疎開

我が家は家族全員で列車とトラック（荷台）に分かれて、疎開の地だった信濃追分に向かったのである。両方合わせて11名だったようだ。

ちなみに父・莊一は、この戦時中に県会議員と市会議員の両方を兼ねた地方議員だったが（当時は両方を兼任できた）、地域の住民を守るべく「警防団長」という役割を担っていた。この任務と肩書きは、当時は地域住民が頼りにする位の高いものだった。馬に乗って指揮する光景は子供にとっては「すごい偉い人」に映ったので少し記憶に残っている。

この辺りの話は小学1年生だった私本人が詳細に覚えているはずもなく、物心ついた頃に父母に聞いて知ったことがほとんどなのだが、荷物と一緒にトラックの荷台に乗って長野方面に行ったことはよく覚えている。

覚えている理由がある。途中の狭い道を通って曲がるときに運転を誤って荷物を落としてしまったのだ。たぶん子供心に「道が狭いなあ～、この先、大丈夫かな」と心配になったのだろう。

こうして我が家だけではなく、都市部をはじめとする多くの地域で学童あるいは家族みんながバタバタしながら疎開していったのである。（つづく）



例会委員会報告

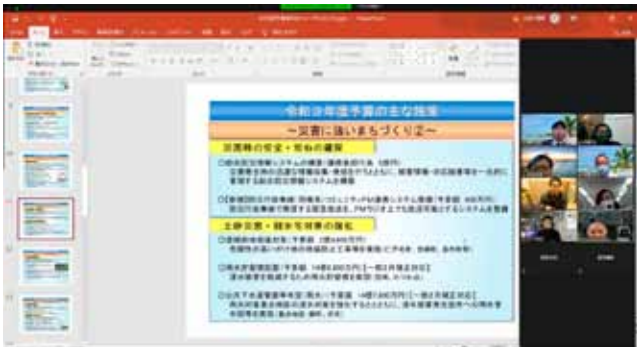
2月例会報告 令和3年2月25日(木)

於：ZOOM

2021年の初めての例会は2月25日(木)にZOOM開催で行われました。

月星会会員でもある川村博章千葉市議会議員による、令和3年度の千葉市予算案についての卓話でした。

千葉市長選を控える状況のもとで、新市長の政策判断による裁量の余地を残しつつも、新型コロナウイルス感染症対策などの喫緊で取り組むべき内容や、子育て・福祉や経済対策について継続的に取り組むべき内容を盛り込んでいるとのことでした。



3月例会報告 令和3年3月25日(木)

於：ZOOM

3月例会は3月25日(木)にZOOM開催で行われました。千葉市財政局資産経営部新庁舎整備課の布施恵一郎課長をお招きして、千葉市の新市庁舎について卓話をいただきました。

2022年末に完成、23年度中に供用が開始する予定の新市庁舎は、地上11階建ての高層棟と7階の低層棟からなり、災害時の危機管理や環境にも配慮した先進的な庁舎となっているとのこと。来庁者の多い部署や議会機能をアクセスのよい低層棟に集約しているとのこと、市民に親しみやすい、使いやすい市役所になってほしいと願います。



5月～6月のスケジュール

5/12(水)	役員会 18時00分開会 寿司割烹みどり
5/13(木)	夕食例会 18時00分開会 寿司割烹みどり 参加費 会員 3,000円、ビジター 3,500円 卓話講師 千葉市経済農政局 参事 鶴崎豊宏氏 テーマ「千葉公園ドームに関して」
6/5(土)	令和3年度月星会定時総会 午後5時開会 場所：ホテルグリーンタワー幕張 参加費：無料 お弁当を用意
6/9(水)	役員会 18時00分開会 寿司割烹みどり

会員異動 新入会



ホシノ ヤスヒロ
星野 泰弘
昭和54年8月18日生

血液型 A型
事業所名 株式会社Sarari(ざらり)
所在地 千葉市稲毛区小仲台2-11-1 スカイパレス小仲台101
TEL. 043-254-5966 FAX. 043-254-5967

URL: <https://sarari.co/> mail: y.hoshino@sarari.co
趣味: 野球観戦、健康麻雀

退会

千葉英隆氏 千葉産業株式会社
戸村 聡氏 有限会社戸村総業
長崎ヤエ子氏 美容室アーク

編集後記

日井正一会長の就任挨拶が頭に刷り込まれ、離れません。人類の繁栄は「人と人とのつながり」によって築かれてきた。ところが今は、つながりを避けるのが正義であり、つながりが蜜になればなるほど社会悪となっている——といった内容でした。全くその通りだと思います。月星会も「蜜」なつながりができるからこそ価値がある、と私も思います。広報委員会は“危険な蜜”にならない工夫をしながら集まって会食し、知恵を出し合っています。この「つながり」によって救われている……そんな気さえます。

(MO)